

水産業強化支援事業事後評価報告書

愛媛県農林水産部  
水産局水産課

政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	
事業実施主体	愛媛県漁業協同組合壬生川支所	
実施地区名	壬生川地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和4年度	令和6年度
交付金額	3,460,000円	
事業計画の内容	漁業用2トン荷揚げクレーンの設置	
評価	成果目標	漁業所得の向上
	現状値	(令和6年度末時点) 漁業所得：2,322千円
	目標値	(令和6年度末) 漁業所得：2,622千円
	(1) 現状値の説明	令和5年度、令和6年度ともに、主な施設利用者として想定していたノリ養殖業者については、全国的に深刻な問題となっている海洋の貧栄養化や高水温化の影響により、養殖業ができず休業状態となったため、計画通りの施設利用及び便益の算出が困難となり、成果目標の達成には至らなかった。 しかし、施設の利用実態としては、刺網漁業者や底引き網漁業者といった漁船漁業者による大幅な利用実績があり、施設を整備した壬生川地区全体としては、一定の漁業経費削減効果が得られていると考えている。
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	(1)に記載のとおり、海洋環境の影響により、当初利用者としていたノリ養殖業者の所得に対しては、向上効果をもたらすことはできなかったが、同地区の漁船漁業者に対する労力削減効果が得られており、平成28～平成30年には平均2,575千円だった漁業所得が令和5年には3,106千円にまで回復するなど、一定の所得向上に繋がっている。

		<p>また、漁業作業が軽労化されたことで、高齢化に伴う廃業の抑制にも繋がっており、同地区の漁業者数の維持にも繋がっていると推察される。</p>
	(3) 所見	<p>環境の変化等により、当初予定していた計画に沿った利用はできていないが、施設自体の稼働状況に問題はなく、漁業者に利益をもたらしていると考えられるため、引き続き利用していきたい。</p>
	(4) 評価機関の意見等	<p>施設について、多大な利用実績があることは理解できるが、計画時とは実態が異なることから、便益や成果目標などの見直しを図る必要があると考える。</p>
今後の改善方向等に関する分析		<p>当時の計画内容について、現状の利用状況を参考に改善計画書を作成の上、見直しを図りたいと考える。</p>